



地域、行政、交通事業者の協働による地域公共交通の充実の実践 ～佐賀市 公共交通空白地域等における地域協議会のモデル事業 事例報告～

金丸晃大（株）ケー・シー・エス、佐賀市 交通政策課

佐賀市の状況

強いマイカー志向を背景に

公共交通の利用低迷

成り手不足・高齢化による

運転手不足

高齢化率（R2:28.9%）20年前から10pt増

高齢単独世帯は10年間で1.4倍

高齢者の移動確保ニーズはさらに高まる

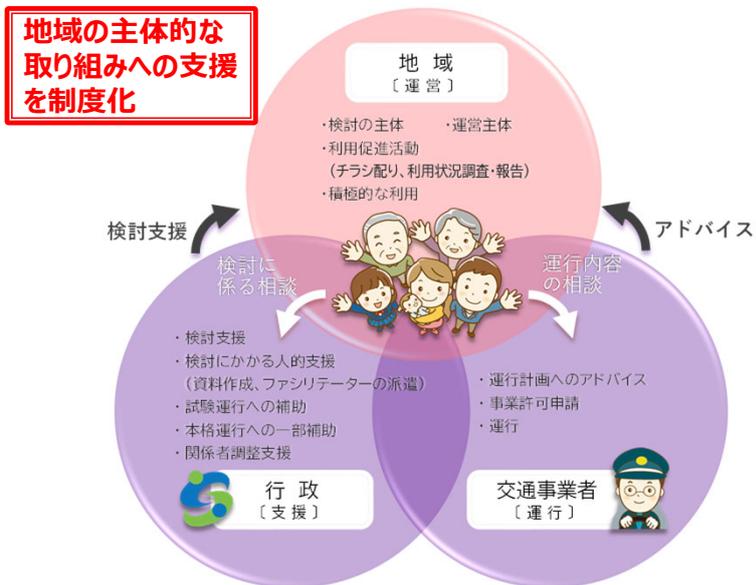
人口の25.6%が該当

公共交通空白・不便地域

**地域公共交通のマネジメントに、
行政のみのアプローチでは対応しきれない
（人手・資金が不十分）**

公共交通空白地域等における 地域内交通活性化モデル事業

行政、交通事業者、地域の協働により地域の公共交通を検討する



春日北校区の取組（モデル事業第1号）：R2.11～

地域

（各自治会、老人クラブ、PTA、民生委員）

- ・ 運行内容の検討
- ・ アンケート調査実施（配布・回収）
- ・ 試験運行の周知
- ・ 効果検証に係る調査の実施（配布・回収）

交通事業者（タクシー、バス）

- ・ 運行（デマンドタクシー）
- ・ 運行計画検討への協力
- ・ 運営検討への協力
- ・ 既存ルートの変更の検討（バス）

大学

- （学識者、学生）
- ・ 運行計画・運営体制検討への助言
 - ・ 周知用ポスターのデザイン

行政（市）

- ・ 事務局運営
- ・ 検討の支援
- ・ 調査協力、専門家招聘
- ・ 関係者調整（公共交通会議等）
- ・ 試験運行の補助、本格運行の一部補助

行政（県）

- ・ 取組に対する一部補助

コンサルタント

- ・ 現状分析
- ・ 調査結果分析
- ・ 運行内容の技術的検討
- ・ 効果検証、課題整理
- ・ 検討会のファシリテーション

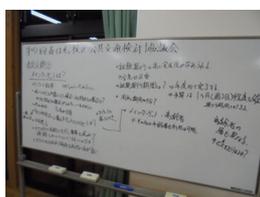
新たな交通サービスの導入を目指す

校区の特徴

- ✓ 既存集落＋市街化調整区域でのミニ開発から構成する地域
- ✓ 人口の69.8%が公共交通空白地域に居住
- ✓ 高齢者が増えてきている。比較的若年層も居住。
- ✓ スーパーや病院、銀行などの生活利便施設は隣接する校区に立地



	検討事項
第1回（R2.11）	地域の現状共有
第2回（R3.2）	アンケート結果共有
第3回（R3.5）	運行形態の検討
第4回（R3.7）	運行内容の詳細検討
第5回（R3.9）	運行内容の詳細検討
第6回（R3.10）	運行計画の協議（決定）
第7回（R3.11）	試験運行方法の周知協議
R4.4～5	デマンドタクシー試験運行
第8回（R4.6）	試験運行の効果検証
第9回（R4.8）	再試験運行内容の詳細検討



※現在、再試験運行に向けて協議を進めている。

効果と考察

- ◆各関係者の明確な役割分担と、検討段階を丁寧に進めたプロセスによって、地域が積極的に参画し責任を持てる体制を構築することができた。
- ◆今後、需要が変化しても、一から地域で構築してきた経験から、地域による柔軟な見直しが見込まれる。